

# ちの

# 市議会だより

## 令和3年3月定例会

第37号  
2021.6.1



### もくじ

- ▶ 令和3年度予算 ..... 2~3
- ▶ 委員会の審査、本会議討論 ..... 4~7
- ▶ 議決結果・賛否一覧 ..... 8
- ▶ 一般質問通告一覧 ..... 9~10
- ▶ 陳情議決結果 ..... 10
- ▶ 常任委員会活動報告 ..... 11~12
- ▶ 編集後記 ..... 12

### 車山山頂 SKY TERRACE (スカイテラス)

2020年12月にオープンしたスカイテラスは、八ヶ岳、富士山、南アルプスが一望できる南斜面から突き出すように設置されており、先端に立てば空に浮かぶような感覚が味わえます。条件が整えば雲海も眺めることができます。



# 令和3年度 当初予算を可決

対前年比7.6%増  
19億4千万円の増

## 一般会計予算額は274億円

3月定例会において、予算に関わるものは、令和3年度一般会計と各特別会計、各地方公営企業会計の予算案及び令和2年度一般会計補正予算案を審議しました。新型コロナウイルス感染症から、暮らしと経済を守るとともに、ポストコロナ時代の新たなまちづくりに取り組み、未来に向かうための「暮らしを守り、明日へ繋ぐ予算」であると説明を受けました。慎重に審議し、定例会最終日19日の本会議において委員会と同様、原案のとおり可決成立しました。

2～3ページでは、令和3年度一般会計予算の概要について紹介します。

### 主な注目事業

#### お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり 【保健・医療・福祉】

- 生活就労支援センター（まいさぼ茅野市）の専門性を有した職員による相談体制の充実（1228万円）
- 新型コロナウイルスワクチン接種の実施（2億7992万円）
- 産後ケア宿泊型対象者の拡充（252万円）



#### 生涯を通じて学び続け、未来を切り拓く、心豊かなひと育ち【子育て・教育・文化】

- 湖東小学校スクールバスの増便（1159万円）
- 小中学校の施設整備  
宮川小校内放送設備取替・玉川小東部中校内電話更新・玉川小金沢小泉野小防水改修工事（1億296万円）
- 小中学校 ICT 教育の推進  
ICT 支援員 GIGA スクールサポーターの増員と ICT サポートセンターを設置し教育の情報化に向けた更なる体制整備（1億6612万円）
- 永明小中学校の建設  
永明小学校と中学校を施設一体型として整備（12億7671万円）
- 尖石史跡公園の整備と追加指定地の公有地化（6376万円）

#### ハヶ岳の豊かな自然と人が調和する環境先進都市づくりと安心な市民生活の確保【環境・市民生活】

- 第2合葬式墓地の整備と販売開始（144万円）
- 諏訪南行政事務組合（ごみ処理事業特別会計）への負担（3億1423万円）
- 森林環境譲与税を活用した森林整備の推進（2015万円）

#### 「住んでよし、訪れてよし、働いてよし」 活力と活気あふれるまちづくり【産業経済】

- 中小企業者等応援金による事業継続支援（1億円）
- サプライチェーン構築・開拓等への支援（100万円）



**豊かな自然と共生した安心・快適なまちづくり  
【都市基盤】**

- 地域内公共交通の利用促進 (8651 万円)
- 永明小中学校周辺整備 (5 億 1630 万円)
- 白樺湖地区街なみ環境整備 (1 億 576 万円)
- サンコーポラス旭ヶ丘の改修 (5480 万円)



**やさしさと活力あるまちづくりを支える持続可能な行政経営 【行政経営】**

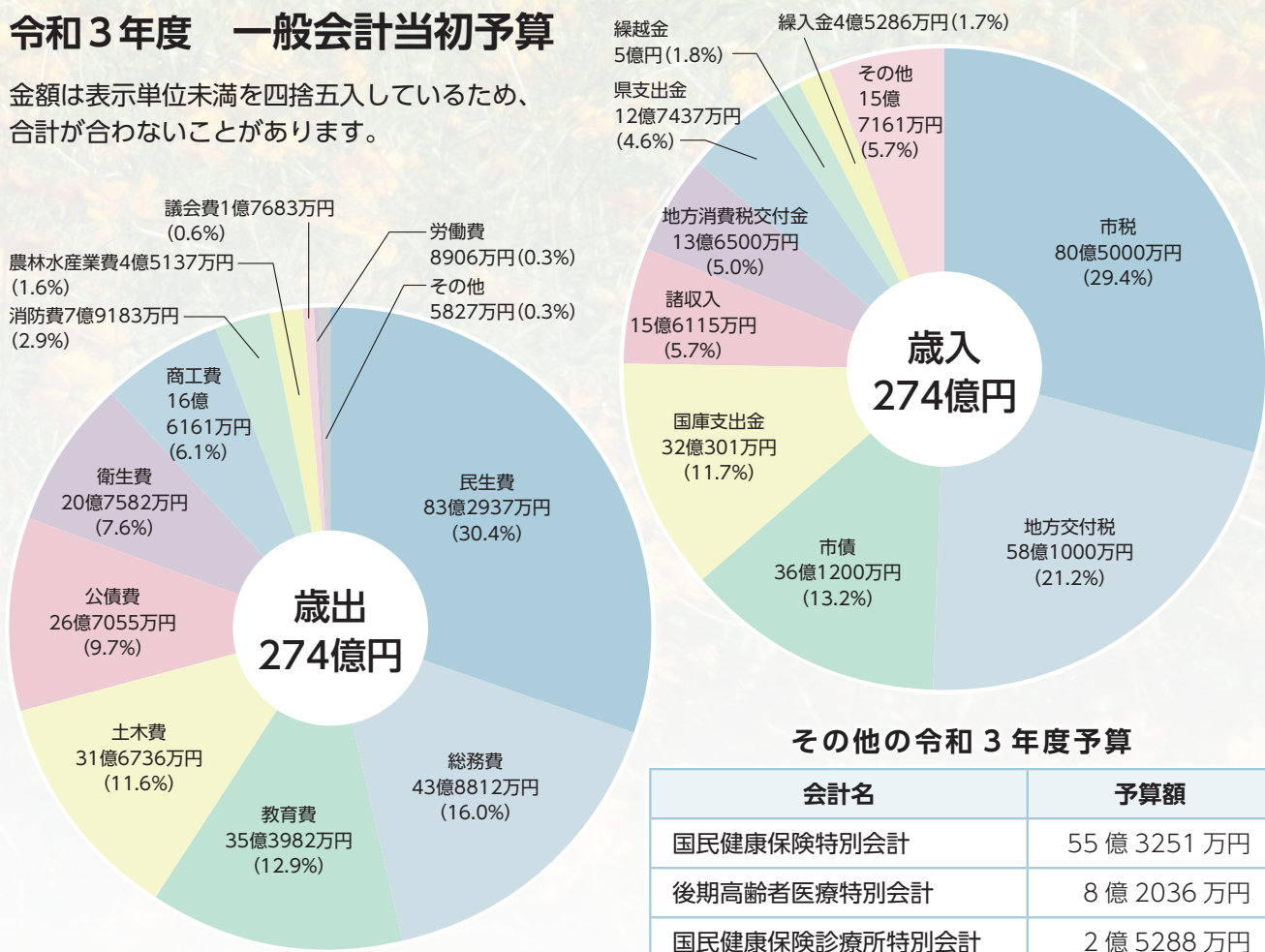
- 電子入札システムの導入 (77 万円)
- 行財政改革の推進 (48 万円)
- 庁内業務のデジタル化の推進 (111 万円)

**交流人口・関係人口増加対策 【地域創生】**

- 未来都市茅野の推進 (147 万円)
- 若者に選ばれるまちの推進 (1075 万円)
- 移住・定住の促進 (1100 万円)
- IT 関連企業誘致の推進 (100 万円)
- ワーケーション・オフサイトミーティングの推進 (地方創生推進交付金事業) (300 万円)

**令和3年度 一般会計当初予算**

金額は表示単位未満を四捨五入しているため、合計が合わないことがあります。



**その他の令和3年度予算**

会計名	予算額
国民健康保険特別会計	55 億 3251 万円
後期高齢者医療特別会計	8 億 2036 万円
国民健康保険診療所特別会計	2 億 5288 万円
水道事業会計	26 億 235 万円
下水道事業会計	36 億 8468 万円

詳細は

わかりやすい予算説明書 茅野市

# 令和3年3月 定例会のあらまし

茅野市議会3月定例会は、2月24日（水）から3月19日（金）までの会期で開催されました。補正予算や条例など23議案を審議し、いずれも原案のとおり、可決、承認及び同意しました。また、陳情1件を審議し、不採択となりました。そのほかに委員会提出の意見書案などの議案2件を審議し、可決しました。可決された意見書案は国などに提出することになりました。各議案の一覧及び議決結果は、8ページをご覧ください。



## 委員会における主な議案の審査

### 総務環境委員会

委員長 望月 克治

議案第7号  
茅野市永明寺山公園墓地  
条例の一部を改正する  
条例について



この議案は、管理棟の廃止に伴い管理棟に関する規定を削るためのもの。

**問** 「管理棟の撤去が終わり、駐車場となった現段階での条例改正になるが、時期的には適正なのか。」

**答** 「今回は公園墓地の一体的整備を進めており、第2合葬式墓地の増設工事が2月末に完了したので、今回の議案提出になる。この間、増設する合葬式墓地使用料の額について、使用料等審査委員会で検討し、現行の合葬式墓地と同額とすることが決まった。使用料については条例改正の必要がなかったため、第2合葬式墓地工事の完了をもって管理棟の撤去について、本

条例の提案をした。」

議案第8号  
茅野市職員定数条例の一部を  
改正する条例について



この議案は、職員の定数を改めるためのもの。

**問** 「今の条例では、市長部局、議会事務局、選挙管理委員会事務局、監査事務局、公平委員会事務局、農業委員会事務局、教育委員会と公営企業に分けられているが、改正案では、市長の事務局等と公営企業の二つになっている。一本化する目的は何か。」

**答** 「公平委員会や監査事務局・選挙管理委員会事務局などが、兼務の形としてカウントされており本来の職員数の把握が難しい形になっている。また3月にならないと人事異動が固まらず、人数の変更の条例を提案する時間的な問題もあり、以前には議会に諮れず、専決で変更したこともあった。表記については、法的に決まったものはなく、柔軟に対応できるように今回提案をした。」

**問** 「茅野市を強くしていくためには、職員のリベルアップが重要で、正規職員が多いことが大事だと考える。職員数を一定規模確保するという考えはあるか。」

**答** 「諏訪広域連合への消防職員の移管を反映したもので、職員数を減らす提案ではない。市の財政運営を考えると、人件費の占める割合は高く、上限を決めてその中で運営していく。極端な人員減を考えてはいない。」

議案第9号  
茅野市特別職の職員の給与に  
関する条例の一部を改正する  
条例について



この議案は、市長、副市長及び教育長の給料を減額するためのもの。

**問** 「手続上、適正に法令を遵守しているのか。特別職報酬等審議会には臨時的、期限付なので諮問の必要はなく、県でも同様の対応をしているとのことだがその根拠は。」

**答** 「特別職報酬等審議会は、昭和39年の自治事務次官通知を受けて、地方自治法第138条の4の規定により設置した。通知による設置であり、



義務ではなく、助言に従った形になる。市では、様々な文献を参考にして、任意の設置であると考えている。総務省のHPに掲載されている資料によると、設置されていない市もあるとされている。設置を求める通知の背景には、昭和39年当時、特別職の報酬が勝手に増額され、世論からの批判もあり、公正化を期すため第三者の意見を聴くという意味合いがある。しかし、給料を減額する場合には、審議会の意見を聴く必要がないという解釈が参考文献で確認できたので、審議会に諮ることはしなかった。ただ、市長については、条例に基づかない自主返納はできず、条例改正をして議会の議決を得ないと、公職選挙法第179条第2項の寄附行為に該当し、第199条の2に抵触することにるので、今回条例改正を提案した。」

**問** 「減額時は審議会にかけける必要はないとのことだが、今までも減額時は審議会にかけていないという理解でいいのか。」

**答** 「給料の額自体が適正かどうかの検討を要する時には、審議会に諮ることになる。」

**問** 「行政改革を行う決意のためということだが、4年の任期を終える段階で考えるべきではないか。」

**答** 「就任して市の財政状況を見ると、少し余裕があるかと思っていたのだが、帳面上ではなく、今後の展開を見た時に、厳しい状況が見えてきた。就任した時点で、諏訪南リサイクルセンターや永明小中学校の建替え、茅野駅西口のリニューアルも始まっており、引き継いでいく。今後も小学校の建替えや改修などは引き続き行っていかなければならぬ。運動公園を見ても、試算では10億円を超える。市民館についても設備機器や本体改修など10億円と試算される。図書館や中央公民館をはじめ、手を入れる公共施設はたくさんある。陸上競技場だけ見ても、なくすという話ではなく、第3種公認をしばらくとれない状況だという話でもあればだけになる。この先10年でそうしたことが一気に来る中で、公共施設のことだけでなく、市民の皆さんと情報を共有して、まちづくりを一緒になって考える雰囲気をつくればと考えている。」

**問** 「みんなで一緒に市のことを考える雰囲気づくりの呼びかけの覚悟」

ということか。」

**答** 「ある日突然施設を閉鎖しますという事態が一番いけないと考える。そうしたことを避けるために、議論をする余裕があるうちに議論を始めたいのでご理解をいただきたい。」

**問** 「来年度から財政について行革の方々とやっていくとのことだが、市民を入れる考えはあるか。」

**答** 「市民会議的なものをつかって議論をして、大きな方向性を出していきたい。」

**問** 「令和5年4月29日のご自身の任期の中で難局を乗り切るめどをつけるという思いだと受け止めていいのか。」

**答** 「乗り切るということではなく、方向性を定めたいということ。行政の進め方で言うと、大枠の計画をしっかり立てる中で、公共施設で言えば、本当にその施設が必要なのかをきちんと議論する中で決めていく。施設の利用料についても検討をしていかなければいけないと考えている。行事や補助金なども、公共施設と同様に、財布の中身を考えながら市民の皆さんと腹割った話をさせていただく。既に、縄文ライフフェスティバルについては、市民の皆さんと話をさせていただいて、中止を決定した。コミュニティ補助金もコミュニティ運営協議会に出向いて、運協の会長さんたちに直接、減額させてほしい旨を伝えた。そうしたことをこの先一つ一つ丁寧に行っていく、任期中に方向付けをしていきたい。」

経済建設委員会

委員長 松山 孝志

議案第3号

市道路線の認定について  
(玉川神之原地籍)



この議案は、道路法の規定により市道路線を認定するもの。県宮中山間総合整備事業、縄文の里地区、神之原広田工区の完了に伴い、工区内で整備された市道路線11路線を一括認定するもの。

**問** 「認定道路の中には幅員4メートル未満の路線が2本あるが、どういう解釈か。」

**答** 「土地改良事業により設けられた道路が認定基準となっており、現況は砂利道である。この2路線については、幅員4メートル未満の部分はあるが、認定していくことになる。」



現地視察の様子

公共下水道全体計画の変更に伴い、関係規定を整備するためのもの。

**問** 「下水道の計画処理人口が56,200人から47,900人に減ることになるが、説明を。」

**答** 「茅野市公共下水道全体計画の上位計画である天竜川流域別下水道整備総合計画の資料によると、令和17年に茅野市の計画人口は47,900人という推計があり、それに基づくものである。」

**問** 「計画処理面積が広がっている理由は。」

**答** 「改正では、2,516ヘクタールから3,258ヘクタールに増えるが、蓼科と白樺湖の計画面積や特別使用許可などを含めた最新の数値である。」

**問** 「先行して認定されている2級8号線は、農協から西側に延びる舗装道路4ブロック3933号線とつながるが、2級8号線からの雨水をきちんと処理できるか。」

**答** 「2つの道路の交差点については、2級8号線は片勾配で外カーブ、縦断勾配は約4%である。4ブロック3933号線の勾配は平らであり、雨水は適切に処理できる。」

議案第11号  
茅野市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について

**可決**

この議案は、諏訪湖流域関連茅野市

内容をそのまま意見書として関係機関に上げることには賛成しかねるので不採択。」

**採択の討論**

「コロナ禍で米価が急落をしている現状の救済方法として、一つは、余っている米を何らかの形で買い上げていくということ、政府の対応が必要である。もう一つは、米余りの現状として、外国からのミニマムアクセス米が米余りの原因になっており、ここにも一定の手を打って、輸入米を減らす。緊急避難的な対応をすべきであり採択。」

**福祉教育委員会**

委員長 吉田 基之

議案第10号  
茅野市国民健康保険診療所の医師の給与等に関する条例について

**可決**

この議案は、茅野市国民健康保険診療所の医師の給与等を定めるためのもの。

**問** 「65歳で定年になり、その後の5年間は、再任用職員で70歳にて雇い止め。医師の資格を持って地域医療

を支えてくれる方が70歳で終了というのはいかがなものか。その後、本人が望めば再任用はあるのか。」

**答** 「定年を迎えられる医師の方が、会計年度任用職員となって、北山診療所で勤務していただける。そのため条例整備。70歳以後は、任意で時短勤務でお願いをするというケースはある。」

**問** 「附則の第2項で、茅野市職員の定年等に関する条例の一部改正で、定年65歳と付け加えるところがあるが、条例の改正は、専決処分であったのか。」

**答** 「今回は給与等に関する条例ということで、まずはこの条例制定が一つ。そして、附則の中で定年等に関する条例の一部改正を提案するというもの。第3条にただし書として、医師の場合には65年という年齢を付け加えるもの。」

**本会議における討論**

陳情2  
新型コロナウイルス禍による米の需給悪化の改善と米価下落の歯止め策を求める陳情書

**不採択**

陳情2  
新型コロナウイルス禍による米の需給悪化の改善と米価下落の歯止め策を求める陳情書

**不採択**

**不採択の討論**

「意見書を政府機関に提出することを陳情するものであり、陳情事項と意見書を照らし合わせてみると、この

採択討論

「この陳情は、コロナ禍の農業者の窮状を訴えている。農業者は国の猫の目施策により翻弄され疲弊している上に新型コロナウイルス感染症が追い打ちをかけている。その証が今回の持続化給付金の扱いである。農業者の場合は前年同月比でなく1年を12で割った額を算定値としており、ほぼ全員が持続化給付金の対象になるが、そのことから推しはかっても農業者の窮状は明らかで、今回の陳情には何の異論を挟む余地がないと考え賛成。」

議案第9号  
茅野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

反対討論



「本条例案は、特別職報酬等審議会条例で規定する『市長は、議員報酬の額並びに市長、副市長及び教育長の給料の額に関する条例を議会に提出しようとするときは、あらかじめ審議会の意見を聴くものとする。』という事前審議を経ておらず、法令遵守とは言い難く反対する。ただし、減額特例条例提出による減額や懲罰的減額の意味で

の条例改正である場合には、諮問は必要ないと解釈されるが、本件はいずれでもない。」

「夕張市の件を契機に『地方公共団体財政健全化法』が制定された。これに基づいてチェックした結果、健全化判断比率、資金不足比率とも、茅野市の現財政は健全であり、黄色信号が点灯しているものではない。」

また、茅野市の明日の創生には、まず職員の見直しが必要だ。気持ちを萎縮させることになれば、期待する力は発揮されない。それと、夢の持てない市では市民は去っていくことにもなりかねず、本議案に反対。」

賛成討論

「本議案を審議するに当たり、3月3日の議案質疑及び3月15日の総務環境委員会における多くの質問により、今井市長の『茅野市の将来』を見据えた強い思いを感じ取ることができた。また、委員長報告にもあったとおり、改正手続についても適正に実施されていることを確認した。本議案について、反対すべき要素が認められないことから、賛成。」

議案第13号  
令和3年度茅野市一般会計予算について



反対討論

「市長が『身の丈を越えている予算案である。』と言っている。中長期的に見て収支均衡予算にすべき。収入が増えない中では支出を抑えるべきである。具体的には大きく膨らんだ永明小中建設費用は精査すべきで、白樺湖畔の公園建設では維持管理費が見積もられていない。維持管理費を含め設計すべきである。利用者数が数%しかないコンビニでの住民票や印鑑証明交付の経費が1枚4千円にもなる。費用対効果を考えると廃止を検討すべき。以上のことから反対。」

賛成討論

「新型コロナウイルス感染症に関わる暮らし・経済対策のほか永明小中学校の建設と周辺道路の整備など重要課題を盛り込んだ市民の思いが十分に反映された希望を持ち続けることができるとの予算である。永明小中学校の敷地についても駅から近く、コミュニティセンターや保育園など市の重要施設も隣接し、今取得しなければ、いずれは賃借に頼らざるを得ない状況となっ

まう。以上のことから市民のための積極的な予算と評価し賛成。」

委員会提案による  
意見書

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額を求める意見書」



経済建設委員会提出の意見書1件を可決し、市議会の意思として、国会や関係機関に提出しました。

緊急事態宣言が発令されていない地方公共団体は、新型コロナウイルス感染症に対し、限られた財源の中、国の交付金（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）を活用しながら、感染拡大の防止、医療体制の確保、経済活動の維持など様々な対策を講じています。

しかし、国から示された交付金額では十分な対策を行うことは困難であり、経済活動の回復や感染対策など地域の実情を考慮した増額措置と、対策に必要な額が措置されるよう制度設計を要望するもの。



# 3月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧及び報告

付託委員会 総…総務環境 経…経済建設 福…福祉教育 予…予算決算  
 ○…賛成 ●…反対 ※議長は採決には加わりません。

番号	件名	付託委員会	議決結果	両角 実晃	木村 かほり	吉田 基之	竹内 巧	伊藤 正博	机 博文	東城 源	木村 明美	小尾 一郎	矢島 正恒	松山 孝志	長田 近夫	伊藤 正陽	伊藤 玲子	樋口 敏之	望月 克治	伊藤 勝	
市長 提出 議案	1 令和2年度茅野市一般会計補正予算（第9号）の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 令和2年度茅野市一般会計補正予算（第10号）の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6 茅野市固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 市道路線の認定について（玉川神之原地籍）	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 市道路線の廃止について（玉川神之原地籍）	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 市道路線の廃止について（宮川丸山地籍）	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7 茅野市永明寺山公園墓地条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8 茅野市職員定数条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9 茅野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	●	○	○	○	○	●	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	10 茅野市国民健康保険診療所の医師の給与等に関する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11 茅野市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12 令和2年度茅野市一般会計補正予算（第11号）について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	13 令和3年度茅野市一般会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	●
	14 令和3年度茅野市国民健康保険特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15 令和3年度茅野市後期高齢者医療特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16 令和3年度茅野市国民健康保険診療所特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17 令和3年度茅野市水道事業会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	18 令和3年度茅野市下水道事業会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	19 令和3年度茅野市米沢鋳物師屋財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	20 令和3年度茅野市豊平下菅沢財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	21 令和3年度茅野市泉野大日影財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	22 茅野市国民健康保険条例及び茅野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	1 「単独親権から共同親権へ」民法改正を求める陳情		議場配布																		
	2 新型コロナ禍による米の需給悪化の改善と米価下落の歯止め策を求める陳情書	経	不採択	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	
委員会提出議案	1 茅野市議会会議規則の一部を改正する規則について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 意見書案の提出について（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額を求める）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告	1 専決処分の報告について																				

議決日は、3月19日の議会最終日（但し、議案第1、2、6号は、2月24日の開会日に即決）



## 茅野市の課題を問う!

茅野市ホームページから一般質問の録画映像がご覧いただけます。また、同ホームページの『会議録検索システム』より会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。

### 3月定例会一般質問通告一覧

	件名	要旨
樋口敏之	1 コロナ禍におけるこれからの市民生活への取組について	(1) コロナ禍における活動・行動について (2) 経済回復の手法について
伊藤玲子	2 コロナ禍から収束に向けて、市民を守るための市のお考えや対策の現況を伺う	(1) 市内の感染状況の認識と今後の対策について (2) 福祉施設でのクラスターや医療崩壊を防ぐための取組について (3) コロナ禍により生活困窮者となった方々への支援について (4) 新型コロナワクチン接種準備の現況について
	3 加齢性難聴者への支援策について	(1) 加齢性難聴が認知症の重要な危険因子との認識はいかがか (2) 特定健診に聴覚検査項目を加えることについて (3) 加齢性難聴者への相談や認定補聴器技能者による相談体制づくりについて (4) 加齢性難聴者の社会参加や認知症、うつ予防等の観点から、補聴器購入助成を中難度の難聴者にも行うことについて
矢島正恒	4 コロナ禍における新年度予算の目指すまちづくりについて	(1) 新年度予算における茅野市の目指すまちづくりと重点事業について (2) 茅野市の健全財政の維持と計画行政の推進について
	5 小中学校における ICT 教育の推進について	(1) 小中学校における ICT 教育の現状について (2) 1人1台タブレット端末や通信ネットワーク環境の整備状況と今後の活用について (3) ICT化に伴う教職員等の支援体制について
小尾一郎	6 タブレット・スマホがもたらす学習への効果と心身への影響について	(1) タブレット・スマホがもたらす学習への効果について (2) タブレット・スマホがもたらす心身への影響について (3) タブレット・スマホ活用上の現時点での課題とその対策について
木村明美	7 新地域公共交通システムの実証運行の途中経過と今後の取組について	(1) 通学バス実証運行の課題と今後の取組について (2) 乗合オンデマンドタクシーの課題と今後の取組について (3) 検討委員の実証運行への関わりについて (4) 実証運行終了に向けた取組について
両角実晃	8 茅野市運動公園国際スケートセンター (NAO ice OVAL) の施設の充実と利用者増加に向けての取組について	(1) NAO ice OVAL の利用者減少の課題について (2) 利用者増加に向けての取組について (3) NAO ice OVAL の施設の老朽化を改善する取組について
	9 学校の働き方改革を踏まえた部活動の地域移行への考えを受け、市としての対応について	(1) 市としての今後の対応について
伊藤正陽	10 茅野市への定住者を増やすための取組について	(1) 茅野市を選ぶ若者のその理由は何か (2) 「若者がいなくなると生活サービスが縮小し生活が不便になる」ことについて (3) 茅野市の交流人口を増やす取組について (4) 若者が行政に求める施策は何か (5) 行政は市民に何をすべきか
竹内巧	11 公共施設におけるランニングコスト削減策について	(1) 茅野市が有する公共施設にかかるランニングコストの現状と課題について (2) 永明小学校中学校建替えにおいて検討されているランニングコスト削減策について (3) エネルギー効率を高める仕組 (コージェネ) による茅野駅周辺の公共施設等を対象としたトータルランニングコストの削減について
松山孝志	12 地方創生と茅野市スーパーシティ構想について	(1) 第1次地域創生総合戦略として取り組んだ事業について (2) 第2次地域創生総合戦略で取り組む事業について (3) 地域創生を進める上で、より確固たるものを創り上げるために挑戦を意図する茅野市スーパーシティ構想への取組について

## 3月定例会一般質問通告一覧（つづき）

件名		要旨
吉田基之	13 コロナ禍での教育現場のデジタル化への対応と子どもへの影響について	(1) 教育現場のデジタル化への対応状況について (2) 先生や親へのデジタル化の支援について (3) 中学校のスマホ持ち込みについて (4) 先生のマスク着用による子どもへの影響について (5) 昨年の休校による学習の遅れへの対応について (6) 生活困窮世帯の子どもへの学習支援について
伊藤正博	14 コロナ禍の観光業・飲食業への経済支援策について	(1) 観光業・飲食業・それに関わる業種の状況把握について (2) 相談窓口の態勢について (3) 持続可能な支援策について
	15 人口減少に対応する施策について	(1) コロナ禍の移住者の状況について (2) 「移り住みたい、住み続けたいまち」をつくるための施策について (3) コロナ禍で求められる新しい生活様式（ニューノーマル）への対応について
机博文	16 茅野市消防団総合計画（仮）策定に向けての検討内容について	(1) 総合計画（仮）の進捗状況について (2) 団員減少に伴う定員削減と部の再編成について (3) 団員の負担軽減と行政区の経費削減について (4) 団員報酬と分団・部の運営費について (5) ポンプ操法大会のあり方について (6) 消防団サポート事業と協力事業所制度について (7) 今後の進め方（スケジュール）について
伊藤勝	17 農業振興の課題について	(1) 支援センター設立時の柱として掲げた目標（集落営農、担い手育成等）の総括は (2) 今後はJAとどのような関わり方をするのか (3) 人・農地プランの展開は (4) 農政審議会のあり方の検討状況は
木村かほり	18 コロナ禍でのこども支援、不登校支援について	(1) 2020年のこどもや家庭の相談と支援の現状について (2) 不登校支援の体制について (3) 民間との連携の方法について (4) 地域のこどもの居場所について
	19 茅野市における自然保育への考え方について	(1) 茅野市の「やまほいく認定」への考え方について (2) 自然保育への取組の可能性について
東城源	20 投票所の見直し投票率アップに繋がるのでは	(1) 茅野市の投票率の推移は (2) 投票所再編の計画はあるか (3) 期日前投票所の増設は可能か
望月克治	21 コロナ禍での生活相談と対応について	(1) 「新型コロナウイルス感染症市民相談窓口」へはどのような相談が寄せられていますか (2) 行政支援を受けるために、住民票を移した方の把握はしていますか (3) コロナ禍に対応するための貸付制度がありますが、利用状況はどうなっていますか (4) コロナ禍で、生活困窮している方の支援は、生活保護も考えられますが、相談や受給状況に変化はありますか

## 令和3年3月定例会 陳情 議決結果

番号	表題	趣旨	提出者	採決結果	
				委員会	本会議
陳情2	新型コロナウイルス禍による米の需給悪化の改善と米価下落の歯止め策を求める陳情書	農業者の経営と地域経済を守るため、国に対し、米の過剰在庫を政府が買入れ食糧支援に活用し、今年産米の過大な生産調整を回避することと、国産米の需給状況に応じた輸入数量調整を実施することの意見書提出を求めるもの。	諏訪農民センター	不採択	不採択



# 常任委員会の

# 一年間の活動報告

## 総務環境委員会

積極的に住民の声を市政に活かすため、テーマを決めて研究を始めた。各委員が、問題意識を持っていることを持ち寄り、その中から「ふるさと

**区長・住民の皆さんへ** 近所で野立てソーラーが計画される場合、事業者からの説明を受けてください

10kw以上の野立ての太陽光発電設備を設置する場合、事業者はあらかじめ市に事前協議書を提出して、区や近隣住民等への説明会を開催する必要があります。説明の対象者には事業者から連絡がありますので、事業計画の説明を受けてください。

これは事業計画に対して不安や懸念されることがあれば、早期の段階で事業者と近隣住民等と共有する必要があるからです。予め事業者と近隣住民等が話し合うことでトラブルが未然に回避され、計画地の特性を踏まえた災害防止及び生活環境、自然環境の保全等への適切な配慮がなされた事業計画とされることを望まれます。

その後、事業者は国の事業計画認定を取得し、市への事業計画届出を提出します。これらの手続きを経て設備が適正に設置されることを望まれます。

**設置までの事業者側の流れ**

- 市への事前協議
- 住民説明会
- 国への事業計画認定申請
- 市への事業計画届
- 設置工事

**Q 取組の対象となる近隣住民等の範囲は？**

A 半蔵計画地から50m以内の市道沿、居住者等  
・区及び自治会、ほか市民が必要と認めらる者となります。

**Q ソーラーの設置で騒音されることは？**

A これまで主に課題になった点は、景観、眩射光、騒音、災害時の対策、施設の増設などが挙げられます。

**Q ソーラー設置の基準は？**

A 事業者は確認済書を提出することが求められます。  
施設基準の詳細は届出をご覧ください。

納税」と「身近なミニソーラー」の二つのテーマについて、研究をすることを決めた。各委員の研究と意見交換を繰り返し、3月には市役所環境課を招いて、「身近なミニソーラー」について担当課と意見交換を行った。担当課から、「ガイドラインを設けて、事業者が地域住民に同意を得て進めることを求めているが、問題も起きている。」との説明を受けた。委員会からは、近隣住民への説明会で、住民が心配すること、問題となることが多いこと等をまとめて、あらかじめ区長に届けることで、説明会を受ける時の心構えや、住民の要望をまとめるうえで、有効なものではないかとの意見を伝えることができた。

担当課では、さっそく左記のチラシを作製して活用されることになった。

## 経済建設委員会

市長提出議案10件を審査し可決した。議案以外では八ヶ岳観光協会より提起された「山岳環境の維持・保全を求める陳情」を審査し採択、諏訪農民センターより提起された「新型コロナ禍による米の需給悪化の改善と米価下落の歯止め策を求める陳情書」を審査し不採択、他に委員会として国に求める「地方財政の充実・強化を求める意見書」、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額を求める意見書」を採択、本会議に上程可決された。

また、議会中以外での活動として新型コロナウイルス感染症に対応している各業界の状況を知るため茅野商工会議所やJA信州諏訪から聞き取り調査を行ってきた。

さらにこれ以外の活動として、下水道の寿命に

関し、丸山工業団地での現地調査も行ってきた。併せて下水道維持について行政の整備状況に関する研修も行った。これら議会外での活動も含め、会期中以外での研究・検討の時間確保が年間活動での課題となった。



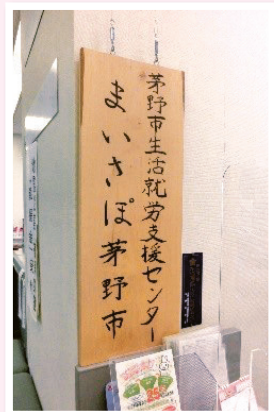
# 福祉教育委員会

10月1～2日に宮川永明学童クラブを視察した。ニーズの増加で教室も増え空調設備も設置されコロナ禍での運営状況を確認。感染対策に神経を費やししながら子どもたちの見守りをされていた。子どもたちの放課後の居場所作りには課題が多いと感じた。さらに児童家庭支援センターつつじを視察。令和2年4月にベルビアに設置され、子育て相談や里親支援など民間運営ではあるが市と連携体制で活動している状

況を確認した。児童虐待が増え、半年間で900件もの相談が。市もさらなる連携体制を検討中とのこと。

2月12日地域福祉課職員とコロナの影響で生活困窮となってしまう方々への対策について意見交換。市役所内に設置された生活就労支援センターまいさぼの支援方法など取組について説明を受けた。お困りの方はまずはご相談して欲しい。

2月19日茅野市教育委員とコロナ禍における学校教育について意見交換。昨年1年間のコロナへの市の対応について確認した。



議場で行われる本会議 動画でご覧いただけます。



議案説明や一般質問等の動画がホームページからご覧になれます。(質問日の一週間後からご覧いただけます。) 実際の質問の様子、市側の答弁について、ぜひご覧ください。また、同ホームページ内の『会議録検索システム』により、会議録の閲覧もできますのでご利用ください。3月定例会の会議録の閲覧は、5月末頃から閲覧できるようになります。

茅野市議会 検索



## 編集後記

平成24年5月1日に創刊されたこの市議会だよりは、平成28年5月19日発行の第17号から広報ちのと合冊となりましたが、初心に帰り、今回発行の第37号から創刊時と同じく単独冊子へと変わりました。

創刊号から茅野市議会では議会改革の議論を重ね、数々の取組を行い議会だよりで発信してきました。

コロナ禍で疲弊している世の中ですが、これからも市民と対話を重ね、議会だよりを通じ議会の内容や活動を、わかりやすくお伝えしていきたいと思えます。

議会広報部会 樋口敏之

## ● 議会広報部会 ●

- 部長 伊藤 正陽
- 副部長 西角 実晃
- 部員 吉田 基之 木村かほり
- 小尾 一郎 机 博文
- 樋口 敏之 伊藤 玲子

次号(第38号)は9月1日発行予定です。